

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分) ③やや遅れている。
(理由) 前述1の項目において、神経→血管への働きかけの分子実態が同定できていないため。しかし、2の項目で確立した手法を用いることで、1に対する新規アプローチを考案できていることを考慮して③とした。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

1の項目において、有力な候補因子が探索できていない結果に関しては、解析系が不適切であったため、正確な検証ができていない可能性が考えられた（強力な血管形成能を持つ因子でないと影響が出てこない）。そこで現在、2の項目で確立した方法論をベースにして、血管リモデリング過程の細胞挙動を解析すると共に、yolk sac上に血管形成因子発現細胞を置いて、血管リモデリングに影響を与える因子を探索する系を立ち上げ中である。
--

13. 研究発表（平成23年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

〔雑誌論文〕 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名	論文標題					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年			最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						

著者名	論文標題					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年			最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						

著者名	論文標題					
雑誌名	査読の有無	巻	発行年			最初と最後の頁
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)						

〔学会発表〕計(1)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標題		
高瀬悠太	胚発生過程における血管リモデリングのイメージング		
学会等名	発表年月日	発表場所	
新学術領域研究「血管—神経ワイヤリングにおける相互依存性の成立機構」第2回班会議	2011年8月19日	ホテルグリーンピア南阿蘇 (熊本)	

〔図書〕計(0)件

著者名	出版社			
書名			発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

<http://bsw3.naist.jp/takahashi/neurovascular/>